



認可保育所設置運営法人募集(予定)

子育て環境の計画的な整備を図るため「大田原市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、平成29年4月に開所できる認可保育園を設置運営する法人の公募を予定しています。

- 募集法人数…1法人
 - 設置保育園の規模…60名定員規模の保育園または認定こども園(保育認定こどもの利用のみを対象とするものに限る) 1園
 - 募集計画(予定)

平成27年6月	募集要項配布
平成27年6～8月	法人募集
平成27年9月	応募法人の審査・決定
平成28年度	保育園建設
平成29年4月	保育園の開所
- ※募集要項は、市ホームページに掲載するほか、子ども幸福課窓口でも配布します。

- 応募資格
市内に事務所または事業所のある社会福祉法人(本募集の保育園などの運営のために法人格の取得を予定している新規社会福祉法人を含む)、学校法人
 - その他…施設建設に伴う補助が受けられる場合があります。
- ※詳細は6月に配布予定の募集要項に掲載します。また今回の掲載内容については、現段階での予定であり、今後変更になる場合があります。

問 子ども幸福課 東 1階 TEL(23)8769

宇田川小学校

平成27年度「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣賞受賞

宇田川小学校が文部科学大臣から市内4校目となる「子どもの読書活動優秀実践校」として表彰されました。

■家読に先駆的に取り組む

宇田川小学校では、家庭での読書習慣を図るため、那須地区で一番最初に「リレー家読」に取り組み始めました。その内容は、全国組織「家読推進プロジェクト」ホームページでも紹介されています。

「リレー家読」は1冊の本を親子で読み、その記録を書き、次の家庭へとリレーしていく取り組みです。親子の絆を深め、感想を共有することでクラスみんなの想いをつなげていくことを目指しています。

■読書で自主的学習態度育成

宇田川小学校は、児童の読書意欲を高め、進んで読書を活用することで自主的な学習態度を身に付けることを目標としています。

■充実した読書活動

毎朝の読書、毎週金曜日の読み聞かせ、朗読集会、必読書の選定などさまざまな読書活動を長年続けています。

学校図書館に教科書関連本を揃えてコーナーを作るなど、学校図書館活性化推進員を中心に授業で活用できるように整備し、積極的に活用しています。

さらに、NIEの実践校として新聞も学校図書館に整備し、読書材の充実に努めています。

■関係者の連携

これらの活動は、学校図書館担当教員の方針の下、学校図書館活性化推進員が実務を担当し、読み聞かせボランティア「ゆずりは会」、市立図書館司書、保護者とも連携し、読み聞かせや図書の受け入れ、巡回図書などを実施する体制が整えられています。

こうした充実した取組・体制が他校のモデルとなると評価され、表彰されたものと考えられます。



使われているうちどくノート

※NIE…学校などで、新聞を教材として活用すること。

問 学校教育課 湯 TEL(98)7113

プレミアム付き大田原市子育て支援券を発行します

市内経済の活性化と子育て施策の充実を図ることを目的として取り組んでいる「大田原市子育て支援券」事業について、国の地方創生交付金を活用した「プレミアム付き大田原市子育て支援券」を発行します。

- 発行総額…7億7千万円
- プレミアム率…10%
- 販売形態…千円券×11枚綴り×7万冊
- 販売価格…1冊1万円
- 販売方法…一人10冊まで
- 販売時期…7月13日(月)～平成28年1月8日(金)
(無くなり次第終了となります。)
- 販売窓口…市商工観光課

問 商工観光課 文 2階 TEL(23)8709

- 使用期限…平成28年1月8日(金)まで
(期限後は無効となります。)
 - 使用方法…市内取扱店において現金と同様に使用。
つり銭は出ません。
 - 取扱店募集…子育て支援券を取扱店が換金する際に1%を手数料として負担していただき、子育て支援基金に積み立てます。新たに取扱店として登録を希望される方はお問い合わせください。
- ※詳細は、広報おおたわら6月号でお知らせします。

広報おおたわらに対する ご意見ありがとうございました

市では、より良い広報紙作りのため、毎年10名の方に「広報モニター」をお願いしています。平成26年度も広報モニターの皆さまから貴重なご意見をいただきましたので、その一部を紹介します。

■記事の中で、お気づきの点はありましたか？

- 自治会の特集は、地域住民のつながりが希薄と感じられる今、時宜を得た内容だとおもいます。(5月号)
- 福原餅つき唄の特集について、800年以上前から伝わる伝統文化であることに驚きとともに大田原の貴重な文化財産であることがよくわかりました。(8月号)
- 申込受付のような、見逃す恐れのある記事は、目次に表記してもらえるといいと思う。

■文章表現でわかりづらいところはありましたか？

- 「トピックス」という言葉について、カタカナ語辞典を引きました。横文字には悩まされる年代もいることを念頭に置いていただければと思います。
- 消費生活センター情報に掲載されていた不審電話について、類似の電話を自分も受けました。高齢者には必要な情報です。大切なところを太字にするなど、読みやすくなる工夫があるとよいと思いました。(12月号)

■写真やデザイン・レイアウトでお気づきの点はありましたか？

- 目次のページには、目次・掲示板・市長メッセージ・今月の表紙・市民憲章などが載っており、もりだくさんの感がありました。載せるのなら、もっと整理して見やすいようにしてはどうか。
- 表紙の写真から大田原の季節ごとの出来事が感じられます。毎号表紙の写真と、裏面の今月の表紙についての記事を読むのは楽しみです。
- 各種相談が一覧になっていて、問い合わせ先と時間がわかりやすい。
- 見出しの色のブルーが薄い色調でわかりにくいですが、おしゃれなのですが、もう少し濃い方がわかりやすいと思います。
- 色刷りがされているところに文字が書かれていると見づらいです。白地に黒の文字の方が見やすいです。

■今後、広報紙にどのような記事の掲載を希望しますか？希望するテーマや記事内容をお書きください。

- 黒羽体育館裏に鎮国社という神社があり、そこには勝海舟から大関増裕に贈られた「一代記」の碑があります。訪れる人も少ないのですが、歴史を感じる場所でもあります。「一代記」の碑の記事を掲載していただければと思います。
- 高齢化、過疎地などの観点から、「一人暮らしに備える」という内容の記事を掲載してほしいです。「ひとりでも、心豊かに過ごす」をテーマにお願いできればと思います。
- 東日本大震災からの復興状況を特集で取り上げていただければと思います。
- 大田原市外(できれば県外)から移住して大田原で活躍されている人物を取り上げてほしいです。

■その他、お気づきの点があれば自由にお書きください。

- 特に医療・福祉などのカテゴリでは、難しい漢字にはふりがなを打つといいと思います。
- 見開くと、左に分野別項目(インデックス)が並んでいます。該当する頁が青地に白抜き文字になっているのは良いと思いました。
- とにかく市役所へ何度出向いてもどこに何課があるか、自分の目的とするのは何課なのかがまだまだ理解できません。どこに何課があるか、毎回どこかに書いていただければと思います。

これらを参考に、今後よりわかりやすく、読みやすい広報紙を目指しますので、ぜひご愛読ください。

問 情報政策課 A 2階
TEL(23)8700



監査委員の選任

大田原市監査委員の任期満了に伴い、市議会3月定例会で同意を得て、4月1日に次の方が選任されました。監査委員の任期は4年です。

▶三浦 宏氏
(再任・大田原市末広2丁目)

問 総務課 A 2階 TEL(23)8702

平成26年度の情報公開状況について

大田原市情報公開条例第19条の規定に基づき、情報公開状況についてお知らせします。

平成26年度の情報公開請求件数は、14件ありました。請求先の内訳は、教育総務課が7件、健康政策課、子ども幸福課、農業委員会事務局、生活環境課、農林整備課、都市計画課、建築指導課がそれぞれ1件ずつとなっています。

公開内容は、全部公開が18件、部分公開が3件、不存在が1件となっています。(1つの請求で複数の文書を請求することが可能であるため、請求先件数と公開件数は一致していません。)

問 総務課 A 2階 TEL(23)1111